

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人調布ハンディキャブ

代表者・役職名 氏名 理事 峯岸伴則

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

利用会員との「互助精神」確立のための交流会

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1979年、調布市役所と社会福祉協議会がボランティアを募集し開始した、単独で公共の交通機関を利用する事が困難な方の送迎サービス。2006年4月よりNPO法人として当団体が引き継ぎ現在に至ります。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

利用者から「外出イベントを開催してほしい」とのお声があり、利用者とそのご家族の息抜きとなる場を我々も提供したいと考え、利用者当法人スタッフとの交流により互助の精神を再確認できる機会となる当イベントを企画しました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当法人の利用者とスタッフの交流をメインに、利用者の社会参加もかね、活動エリア近隣の公園や博物館などの散策と昼食会を開催。またそれに伴う送迎も行います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

例年は調布市近郊で開催してきたが、今回は当法人活動エリアより離れた「しながわ水族館」の散策をおこないました。例年ご参加を見送られてきた方からのお申し込みも多く、公共の交通機関を利用する事が困難な利用者の皆様にとって、水族館という場所に行く機会が無いとのことで、ご本人や付き添いのご家族も大変楽しまれました。多くの参加者から喜びのお声を頂き、スタッフの士気もあがりより良いサービスへの展開が見込まれます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回、開催地を遠方、ならびに水族館としたことにより、非常に多くの参加希望をいただきました。日々を豊かに過ごすためにも利用者ご家族の息抜きの場、そして楽しいと思える非日常を感じられる場を提供できるよう、今後も開催場所を吟味し継続していきたいと考えております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



NPO
調布ハンディキャブ

かわら版

第32号（令和元年12月3日発行） NPO 調布ハンディキャブ事務局／発行人 中島健二
〒182-0033 東京都調布市富士見町3-15-14 さわハイツ101号
TEL：042-440-3860 FAX：042-446-3856

年末年始の休業

年末・年始の休業は下記の通りです。

年末年始「事務所」休業→12月28日（土）から1月5日（日）

年末年始「運行」休業→12月28日（土）から1月4日（土）

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

※年末年始休業を挟みますので、1月分のご予約申し込みはお早目をお願いいたします。



秋の外出イベント、今年も開催しました！

今年も利用会員様との交流の場として、外出イベントを開催いたしました。11月11日（月）、14日（日）の2日間、童心にかえて「しながわ水族館」にいきました。当法人からはボランティアドライバーが「送迎ドライバー」と「案内係」として参加し、昼食会なども含めご利用者、ご家族の皆様と楽しく交流することができました。今後も実施したいと考えております。ご参加の皆様、ありがとうございました。

